

軽米町百人委員会平成 28 年度第 3 回はつらつ子育て部会議事録

○開催日時：平成 28 年 11 月 4 日（金）午後 6 時 30 分～午後 8 時 13 分

○開催場所：軽米町役場庁舎 3 階会議室

○出席者

委員：14 人中 6 人出席（宮本友利、高橋啓介、鶴飼久子、百鳥陽子、森勝枝、上岩恵美子）

事務局：健康福祉課 於本、坂下、加藤
教育委員会事務局 佐々木
総務課 吉岡 小笠原 下谷地

○開会

（健康福祉課長）本日はお忙しい中、はつらつ子育て部会にお出でいただきましてありがとうございます。第 3 回目となりまして、まとめに入っていないかなきゃならないと事務局でも話しております。せっかくの機会でございますのでよろしく願いいたします。それでは部会長さんからご挨拶をお願いいたします。

○部会長あいさつ

（部会長）第 2 回の百人委員会のときには、部会とともに研修会もいたしました。そして議事の中でグループワークをさせていただきましたけれども、みなさん資料はお持ちでしょうか。今日は課長さんもおっしゃいましたが、まとめに入らせていただきたいと思います。今日の議事として、提言の検討及びまとめとありますので、そのように進めていきたいと思いますのでよろしく願いいたします。

（健康福祉課長）それでは、議事の方に入らせていただきます。部会長さんの進行でよろしく願いいたします。

○議事

（部会長）それでは、議事に入らせていただきます。議事の（1）、テーマ 1 として、「安心して子育てできる環境」についての提言の検討及びまとめ、テーマ 2 として、「結婚して住み続けられる環境」についての提言の検討及びまとめということで、1 つずつ、テーマ 1 から。

（健康福祉課長）事務局の方から説明してもらいましょう、テーマ 1 から。

（事務局）テーマ 1 の「安心して子育てできる環境」ということですが、テー

マ1は、生まれてから就職までのところについてです。良い点として、児童福祉施設に関することと言えば、びよびよ広場、児童クラブなどがある、児童クラブで長い時間預かってもらえる、保育園に大変お世話になった、保育園を通勤に合わせて選べる、などが出ました。学校の連携に関することと言えば、中学校と高校の連携ができている、教育に関して、保育園・小学校・中学校又は高校まで通える（養護も可）、子育て中、保育園から小・中・高に支援があるということが出ました。病院・検診に関する良い点ということで、軽米病院に小児科があり、土日でも対応してもらえる、赤ちゃん訪問や健診等、出生後の支援は十分あると思う、乳児健診で相談できる（その他にも訪問や電話での相談もできる）、5歳児検診など発達検診がきめ細かく行われている、町内幼稚園の虫歯への取組みはとても良いということです。通学に関することと言えば、町外にも通学できるということが挙げられます。その他として、町の広報、かるまいテレビで情報を得られる、情報無線もある、お祭りを大切にしている、などが良い点として挙げられています。次に、テーマ1についての課題ということになりますが、公園に関することということで、子どもが遊べる公園が少ない（外で遊べる場所があると良い）、大きな公園がほしい（南郷にある公園以上のもの）、モデルタウンを探し、良い所を真似すると良い、という意見が出ました。スポーツに関することと言えば、子どもの数が減ってきているため、行われてきた行事ができなくなっている（ソフトボールや運動会など）、子どもが少ないため、スポーツや何か活動させるとき大変、昔は子ども会のソフトボール大会や各地区が出てやっていたことが、今なかなかできていないと思うので、そのような地区対抗の大会があればよい、小・中・高と通してできるスポーツを作りましょう、廃校になった校舎の有効活用、(1)として、体育館の床を取り払って、野球・サッカー・ゲートボール等の屋内運動場にする、(2)として、バスケ・バレー・卓球など、たくさんの町内外の人が使える施設を作る、サイクリングロード、ジョギングロードなどがほしい。通学に関することの課題としては、中学校が1つになったことで通学等の不便さがある、スクールバスの利便の向上が挙げられています。託児に関することの課題ですが、保育料について、1人目も低料金、2人目以降は無料といった良い施策を、軽米のみならず外部の市町村・その他に発信して軽米に住む人を増やす、病児保育もあればよい、床屋に行くときなど、1時間から数時間の短時間子どもを預けられる所がほしい（一時預かり保育があればよい）ということです。児童クラブに関することということで、児童クラブで預かっている児童がけがをしたときの対処の仕方について、小軽米小学校から児童クラブに通っているが、笹渡にも児童ク

ラブがあればよい、以前は児童クラブがなかったが、小軽米支所で1時間くらい学習させてもらい、スポ少に送ったということ。その他の課題として、未婚者が多く子どもが少ない、産婦人科医がない、高校を卒業しても働く場所が少ない、という課題が出ております。テーマ1に関しては以上のような良い点、課題等が出ておりました。

(部会長) みなさん、この資料を読んできたと思うんですけども、追加で何かありましたらどうぞ。

(委員1) 病院や検診に関することの所に、保健師さんが長くその部署にいてくださるので、子どもの成長を共に喜んでもらえる。例えば子どもが保育園を卒園して小学校に入学した、中学校に入った、成人したとか、節目節目に、私自身保健師さんに挨拶に行ったり、こういうふうに大きくなりましたって言っていたもので、これはとてもいいことだなと思っています。保健師さんと長く関わることができる。あと学校に関することなんですけども、学校からの配布物なんですけど、今軽米中学校に上がりましたが、小軽米にいるときもそうだったんですが、学校等のお便り等が子どもを育てるための方法としては非常にありがたいものでした。例えば先頃行われた軽米中学校の文化祭であれば、学校からの配布物は文化祭当日の注意事項というものが渡されているんですけども、公共のマナーのようなものが書かれていて、友達同士であったり保護者の皆さんであったり、先生であったり来賓の皆さんであったり、ぶつかっただらすみませんと一言言葉を発する、素晴らしいステージ発表等があれば、失礼にならないようにきれいに拍手をしてだらだらとしないとか、親が教えるということもあるんですけども、こうして学校で子どもたちに向けて教えてくださるといのはとてもいいなと思います。また、学校の給食だよりがあるんですけども、黄色かったり緑だったりちょっと色が変わった用紙で来るんですけど、これには郷土食の作り方とか旬の野菜等が書かれてあります。栄養等も書かれているので、軽米にいて新しく入ってきてもそういうのを見れば親としても勉強になるんじゃないかなと思います。学校の方ではその他に、カウンセラーを配置していたりして子どもたちも相談に行けますし、親も子どもの様子を相談することができます。通学に関することなんですけども、町外にも通学できるように補助が必要だよねって私たち話し合いましたが、これも学校から、または役場さんからのお知らせ等で奨学金制度が知らされているので、これに関しても補助という形ではないんですけども、親としてはありがたいお知らせだなと思います。図書館の方なんですけども、読みたい本とか新しい本とかの紹介もありますが、その本を紹介されてもされなくても自分が読みたいと思う本があれば、図書館にリクエストすると少し

時間はかかるんですけども、自分のお金を使わなくても買ってもらえるという状況になっています。課題になるかもしれないんですけども、軽米中学校でホームページを校長先生が作っているんですが、私の携帯では見ることができなくて私は一度も見たことがないので、皆さんにいい案をもらって、みんなが軽米中学校の様子をわかればいいなと思います。その他の所に入れてもらいたいんですけども、教育振興の盛んな町だと思います。1月から2月にかけて、教育振興委員会もありますし、学校保健委員会の大会もあるんですよ。これは各学校の取組みが発表されています。目的が同じであっても各学校ごとに方向が違っていています。自分の学校にしかないとまた今年もこれかと思うこともあるんですけど、そういう大会とかに行くとよその学校の様子がわかるので、自分で取り組むのだったらこっちの方がやりやすいとか、こういうふうなのがあるんじゃないかなというふうに、自分に勉強になるんじゃないかなと思います。なかなか学校からの案内は1週間前とかじゃないと来ないんですけど、軽米カレンダーを見れば前もってプリントされているので、できれば皆さんもそういう場を活用して、わかりやすい楽しい先生がたくさんいるので、来てもらって勉強してもらえばいいんじゃないかなと思います。

(部会長) はい、ありがとうございます。今は小学校も学校通信というか、区長配布になってますよね。

(教育次長) なってます。

(部会長) だから学校に入っていない人たちも学校の様子がわかる。なかなか生徒を持たなければ、何をどうやってるかというのはわからないわけでしょう。全戸配布になってきたからいいなと思っています。私たちが子どもたちを育てるときは、しつけは家庭で、学びは学校でというような教えをもらった。いろんなマナーとかしつけという部分は家庭できちんと教えるべきものだと思います。学校でしつけまでというのは大変なことだと思います。

(委員1) は保健師さんとの関わりも定期的にもってるわけですが、他の人は健診とかでね。あと何かありませんか。

(委員2) ゲーム機がないと遊ばない、ないから遊べないというふうな状態になっているようで、ゲームを強制でやらせないというわけにはいかないと思うんですが、持っていない子がみじめな…でも親とすればゲームばかりやるから買ってあげたくないという感じで、そういうふうな問題も出ているみたいです。

(部会長) すごく問題になってるよね。それこそポケモンGOだからで事故も起きてるし。子どもたちは外に出るということもなく、起きればもうゲームをやってるし、男の子だったら外に出て遊ぶんだかね。

- (委員1) 同じです、外にゲーム機を持って行って遊んでます。
- (部会長) 中学校になってもやってるのかな。
- (委員1) 高校生になってもやってます。
- (部会長) 携帯ですよ今は、スマホだかなんだか。
- (委員2) 小さい子がそんな感じで遊んでもらえないって。そういうのをどうしたらいいかなと思って。
- (委員1) 親の問題でもあるんですよ。
- (委員2) 親がどういう遊びを進めるか。ゲームを持ってない人がいるときはゲームじゃない遊びをするとか。
- (委員3) やっぱ親がそれを教えてあげないと。PTAの役員会とかに行くと、小学校もゲームやテレビなどのメディアの部分で、やっぱり長く見ている、やっている子どもが多いというのを学校でもわかっているの、けっこう話題にしている。子どもたちもノーメディアの日は見ないとか、子どもたちの委員会とか、子どもたちながらも話し合いをしたりとか、学校側の方でなるべくやらないようにというような話し合いはけっこうしてるんだと、PTAの役員会に行くといつも話題にあがる。
- (部会長) ノーメディアというのはどのくらいの間隔でやってるの。
- (委員3) 3つの小学校で同じだと思うんですけど、中学校はテスト期間のときに併せて無線で流したりとか。中学校と小学校を一緒にしてもらえると、お兄ちゃんが勉強頑張ってるから見ないようにしようね、とかって言えるのですごくいいなと思います。
- (部会長) あれはいいなと思います。
- (委員3) 無線で流してくれるので、ノーメディアの日ですって言うと、地域の人たちにもわかってもらえるかなと思います。
- (部会長) そういうふうなのがなければ子どもたちは夢中になるし、子どもたち同士でそういうことを話し合ってると思う。ただ持ってない子が今度はいじめに遭ったりするので、そこは親が目を光らせる。あとありませんか。
- (委員1) 今は良い点についてですもんね。
- (部会長) どちらでもいいですよ。前回出た意見はしっかりまとめていただいでるし。
- (委員1) では課題の方なんですけども、私も長くPTAをやっているのもう世代が違うかなとは思いますが、課題になっている、子どもが遊ぶ公園が少ないっていう公園に関する事なんですけど、軽米にはフォリストパークとかこぶし公園、ロマンの森があると思うので、こういうところをなんとかうまく、若い人たちも遊べる、満足いくような公園に、という役

割があればいいんじゃないかと思いました。あとはスポーツに関することなんですけど、全体で同じものを取り組めればいいなという意見が出ていて、私の経験上、自分の地区ではみんなが子ども会に入っていて、4年生以上からソフトボールの練習をすとか、卓球の練習をすとかっていても、兄弟がいれば小さい子たちも同じグラウンドにいて、そばで遊ばせたりとかもしてきたんですが、経験上、全体で同じものに取り組むってというのがすごく大変なこともありましたので、子どもの得意なもの、そうでないものがあるので、スポーツに関しても課題と言えば課題なんですけど、課題でないっていう部分も含まれるのではないかなと思いました。

(部会長) どうしても子どもが少なくなってるから、やりたくたってできないことはいっぱいある。前は4年生からって言ってたけども、3年生でも2年生でもあれば出る。ベンチに連れてったりなんでもそうだよ。小さい子も入ってる。前は4年生以上だったけど4年生以上だけじゃ人が足りなくて。だから3年生あたりでも出てますよね。とにかく子どもが少ないのでございます。私が子育てしたときの3分の1にもならないと思う。本当にさみしい。スクールガードもやらせてもらってるけど本当に子どもが少ない。

(委員1) 統合になって大変だなと思ったんですけど、大変でないことも、いいこともたくさん出てきたので付け加えさせてください。通学に関することなんですけど、学校が1つになって通学が不便になったという点もありますが、遠くから1人で歩いてくるような状況の学校に行ったものでしたから、今は家の前から乗っていける、安全の面では本当に助かっていると思う。スクールバスは便利けども、スポーツができないとか運動不足になったとかあるんですが、そこは各家庭で親が時間を見つけて運動させるとかすればいいのではないかなと思っていますので、不便だということの中には、安全が保たれるというのが私の中ではあるので、みなさんにもちょっと考えてもらいたいなと思いました。

(部会長) スクールバスも今から真冬になると、雪が降ればまた大変な思いをすとは思うけども、今年は止まるということなく、休みになったら休みと早めに学校の方からお便りがあれば、去年みたいなことがないと思いますので。その辺は行政さんがちゃんとやってくれると思います。あと学校の給食の便りの中で、いろんな食べるものとか、ピヨピヨ広場の通信欄とかで雑穀を使ったいろんなとかついてきて、すごくためになってるんですけど。やっぱりそういうふうなのをもらおうと、家庭でもこれやってみようと思うし、子どもたちが学校で何を食べているか様子もわかりますので、すごくそれはいいと思います。そのほかありませんか。

(委員4) 安心して子育てできる環境ということなんですけども、これは軽米の町民に対してという解釈なんですか。それとも…

(部会長) 今は町としてですね。

(委員4) というのであれば、この前私初めて参加させていただいたんですけども、私が知らないいい点というのがたくさん出てきてると思いますし、勉強になりました。子どもが生まれる前から、保育園なり幼稚園なりに入って、小学校、中学校…と流れていくと思うんですけども、それをこう例えば、軽米では生まれる前はこういったことをやってます、生まれてからはこういったことをやってます、幼稚園と保育園はこういうふうに違います、小学校に入れば児童クラブがこういうふうな時間帯にやってます、中学校～高校ぐらいのところまで町ではこういうふうな活動をしてますよと、1冊の本というか、町民にわかりやすいような本を、この前全然項目は違いますけども、防災マップというのがみなさんの家庭に配ってあったと思いますけども、あれなんかすごい細かいところまで重要なものまで載ってるなというのがあったので、その子育てバージョンじゃないんでしょうけども、そういうふうなものがあったらいいのかなと思いました。特に私なんか、奥さんたちって言えば失礼があつて語弊があるかもしれませんが、我々男の方はちょっと疎いところがあるんですけども、一枚一枚その都度その都度そういったのに参加した時に紙が回ってくるのかもしれないですけども、なかなかみなさんそれを綴って旦那が見るってということってないんじゃないかなと思うんですよね。ところがこの前みたいな防災マップ、私は消防もやってるんで気になって見たのかもしれませんが、そういうふうなので1冊来ると、生まれる前の方も関心が出て、子どもができたとかわかれれば関心が出てくると思いますし、その後どうしていったらいいんだろうというのをいちいち役所に聞くよりも、そういうふうなもので見れば、こういうふうなものに関してはここに問い合わせすればいいとか書いてあるのがあるだけでも、ちょっと違ってくるのかなというのは感じます。

(部会長) 1年に1回配布はされてるんですよ。

(委員4) そういうふうなものも知らなかった。

(部会長) 年間の行事というか、乳幼児から年寄りまでこういうのやってますよ、課題と結果と書かされたのが毎年ちゃんと配布になってるから、今度見せてもらってください。そうすれば、どういうふうな検診をやってどういふようになって、課題はどうだとかっていうのがきちんとついたのが…

(委員4) ただ、1年間のだけじゃなくてずっと、1年毎のはもしかして来ていて私はちょっと見たことがないんですけども、例えば、子どもができたところから高校までのところで、こういうふうな流れで今町では活動して

ますよと、例えばこういう支援がありますよとかちょっとしたのが。

(委員1) 子育てテキストみたいなイメージですよ。

(委員4) 子育てテキストみたいなのがあれば見たりするのかなと思ったぐらいで、すみません、何が来てるかわかんなくて言っていました。

(委員1) 見通しが立てれるようなものがあれば。

(委員4) 幼稚園と保育園の違いも、預ける段階ではわかるんですけども、ただその前に何が違うのという話になってくると、保育園の方が例えば見てもらう時間が長い、ただ幼稚園の方が安いよとかなんとかっていうのも、私なんか本当に全然知らない。なんで私が幼稚園入ったかもわからない、たぶん安くて入ったという感じだったんですけども、そういうふうなのを、生まれる前からそこらまでの1冊のテキストみたいなのが渡るとまた違ってくるのかなと。その1年毎の行事なんか私は全然見たことがなかったのであれなんですけども、そういうのが軽米町民全部にわかるような形にしてあげるのもいいのかなと思いました。変わると思うので大変だとは思いますが。

(事務局) 今のご提言、大変ありがとうございました。実はですね、今年度中というような発想なんですけども、今私の方でも、いろんな子育て支援のサービスがあるんですけども、それが各課からそれぞれ情報が出ているので、それが1枚で確認できるようなもの、全部何がどうだこうだという説明を入れると膨大になって誰も読む気がなくなってしまうので、今のところA3判の表裏とかでちょっと考えているところです。今まで要は縦割りという形でそれぞれの担当の分ずつやっていたものを、その年代、何歳から何歳まではこういったことがあるんですよとやって、その中でお問い合わせ先、こういう場合はここに連絡してくださいとか本当に簡単なものを考えていたところだったんですけども、今お話を聞いて、テキストということもありましたので、もうちょっと膨らましてみてもいいのか、検討材料をいただいたなというふうに思っていました。また実際にそういうものを作る際にはご相談をするかもしれませんけども、そういうふうなことでよろしくお願ひしたいと思ひます。

(部会長) なかなかお知らせ版でも回しものでもなんでも、女の人には読むかもしれないけども、嫁さんが読んでばあちゃんが読まない、知らないとかいろんなことがあるから、今うちの地域では家庭に行ったら見るところに置いてみんなで読みましようと言って、知らなかったという人がけっこういるんですよ。せつかくお知らせ版でもなんでも詳しく書いてあるのを出してくださってるので、みんなで見るようにしなきゃならないなと思ひております。若い人たちはやっぱりやったりとか年寄りばかりやったりって偏

ったりして、もうどうにもならなくなってることがあるんです。そういうふうなものは家庭内でみんなで見えるようにしましょうとは言ってるんですけど、なかなか男性群は、うちもそうなんですけど読んで聞かせないと、こんなことありますって言わなければ、ああそうかというぐらいで、自分で開いて見るというのはなかなかないので。そこらへんは見た人が喋って教えてあげてほしいなと思います。ありがとうございました。あとありませんか。ではテーマ1はいいですか。テーマ2に移らせていただきます。「結婚して住み続けられる環境」ということで説明をお願いします。

(事務局) それでは、テーマ2「結婚して住み続けられる環境」(就職から、出会い、結婚まで)というところにつきまして、良い点としましては、自然が豊かという点が出されました。自然が多い、チューリップと言えば軽米、といったようなご意見でした。交通の便に関することとしまして、仕事の際に二戸、八戸、久慈の3か所で選択できる、高速道路が通っているという良い点が出されました。課題としましては、働く場所に関することとしまして、近くに就職する場所がない、子育てできる収入がない、子ども、配偶者有りの人の雇用促進をしてほしい、まずは役場からやってほしいというようなご意見が出されました。次に軽米へ来た方の交流施設に関することとしまして、宿泊施設がない、マンガ・アニメとの協働ができていない、ということが出されました。住む場所に関することとしまして、アパートが少ない、独立するときの住宅がない、不動産屋がないのでアパートを探せない、町外から町内へ住む人への補助があればよい、子育て世代の転入促進、こちらも補助があればよい、町の各種助成制度の情報発信をした方がよい、というご意見が出されました。その他としましては、結婚していない人が多い、という課題が出されました。

(部会長) ありがとうございました。今説明していただきましたが、これについてまた補足とかがあれば。

(委員3) さっき公園のところでも出てきたんですけれども、自然豊かなところがいい点というところがまずあると思うので、さっき言ったフォリストパークとかこぶし公園とかを整備して、今ハートフルを芝桜でいっぱいにして来てもらおうという取組みをしているのはすごくいいと思うので、今ある公園を有効活用して、この間の十和田の人の話じゃないんですけども、何かこう耳や目に残るようなことをやるというか、宣伝みたいなことをして軽米に来てもらうのが一番効果的なのかなと思います。ロマンの森なんかも有効活用できればいいと思いますけども。

(部会長) 育成会するときなんかあそこに行ってテントを立てたりとかキャンプしたりとかは以前はあったんですけど、今はどうでしょう。

(委員3) 小学校とか保育園の遠足では行くこともあるみたいです。フォリストパークはチューリップだけですよね。何年か前はカブトムシのをやっていた何回か行った記憶があるんですけど、そういうのもいいと思うので何か。チューリップが咲いてる期間は決まっているので…。ハートフルの芝桜はすごくきれいですよね。テレビとか新聞にも出ましたよね。そういうふうにすると周りからも来てもらえる。来てもらえるような効果的なものがあればいいなと思います。

(部会長) ありがとうございます。

(委員2) 1回私何かの会議の時に言ったんですけど、フォリストパークにチューリップだけじゃなくて、きれいだなとみんなが寄ってくるような四季の花があればいいのかなと。

(委員3) カタクリの花もありますよね。

(部会長) チューリップが終わったら、夏の花、秋の花って植えてますよね。

(事務局) アジサイだけかもしれない。

(委員2) アジサイロード。

(健康福祉課長) カタクリは手前の方、橋の反対側の展望台の方に。

(委員2) ミズバショウはけっこう珍しいので見に行くと思う。

(部会長) いろいろなことを考えて、せっかくフォリストパークという立派な施設があるんだから。あとそれから交通の関係ですけども、町内を走っているバスが以前よりは便利がよくなったようですが、土日走ってませんか。

(事務局) 市日だけ。

(部会長) 休みの日は市日だけ。

(事務局) はい。

(部会長) 日曜日にイベントがある時に、遠くの人たちは来れない。来たくても来れないと言うんですよね。フェスティバルのときとかそういうときに見に来れないと言うんですけど、日曜日にイベントがあるときだけ運行するということはできないものでしょうか。

(事務局) 今の町民バスが3台なんですよ。3台で1週間に同じ場所に2回行って回してるんですが、イベントがあって運行するとなると、やはり全部の地域に回らないと逆に不公平感が…

(部会長) その日によって行くところと行かないところがあるわけですね。

(事務局) ええ。例えば市日ですと、その日はバスが行かないかもしれないけども、年何回かあるわけで当然その中には、市日に行けるときもあるというような形でやってるんですが、1つのイベントに合せようとするちょっと無理があるなという。

(部会長) 見に来たくても日曜日はバスがないからっていうのが、物産館でボ

ランティアさせていただいとよく言うんですよ。今度あるから来てね、なんて私も軽々しく言うんですけど、そうすると、だってその日はバスが来ないから来れないというふうに言うから、バスがあればもっとたくさん来てくれるのかなと思ったりもしましたので。

(事務局) 何か方法を見つけられるかどうかからなんですけども…

(部会長) だんだん便利になってきているから、バスの回数もあるし市日なんかこのバスがあるから来れるって、本当に年配の人たちばかりなんですよね、物産館で休んでる人たちは。バスがあつてよかつたねって言ってますけど。そういうことであればいいかなと。

(事務局) 検討させていただきます。

(部会長) ほかありませんか。

(委員2) この間の食フェスタのとき、役場からだけ乗せていったんですか。

(事務局) 役場発なんですけども、何か所か経由して。

(委員2) どこで停まるかっていうのも何かに書いてたんですかね。

(事務局) 普段、まちなか線という役場からハートフルまで行く路線があるんですけども、その停留所のイメージでのご案内だったと思うんですけども、そのへんがもしわかりにくかつたのであれば。

(委員2) 役場まで行かなきゃないから行けなかつたという人がいたから、途中で停まってもらえれば行けたのになという人がいたので。

(部会長) 国体の時にバスが行つたのは初日だけですか、初日だけですよね。

(事務局) たぶん平日だとまちなか線を利用してほしいというふうなことだったと思います。

(部会長) 私も書き物も見てなければ聞かれるんですよね。バスが出るの、どこから出るのと。私たちは近いから、役場だよと言えば役場から乗っていきけるんですけども、出るのか出ないのか定かでないときに、出るんじゃないかとは言うけど、本当に出たかなと思えば初日だけ出たという話で、2日目、3日目は出ましたか。

(事務局) まちなか線が…

(部会長) まちなか線を覚えてる人であればまちなか線に乗っていったかもしれない。せつかくの野球の応援に。

(健康福祉課長) 部会長さん、今日は子育て部会ですから。就職から出会い、結婚までということでよろしくお願ひします。

(部会長) はい、では進めましょう。何かありませんか。就職から出会い、結婚までということ。

(委員4) 「結婚して住み続けられる環境」(就職から出会い、結婚まで)とあるんですけども、ここの課題のところにもありますけども、軽米町内に今

現在就職する場所が少ないのでたぶん高校終わって出ていかれる方が多い。出ていった方が本当は戻ってきたい方がいるんだけど、就職先がないので戻ってこれないというのが現実的な話であると思うんですけども、それを解消しようとするれば就職先を作ればいいという話になるかもしれないですけども、その就職先を作るというのははっきり言って大変な、誘致企業とか持ってくると言っても大変な部分があったりすると思うので、逆に、さっき交通の便のところ、二戸・八戸・久慈に行けるという便がいいところがあるのであれば、例えば就職は軽米にできないかもしれないけども、そういうふうなところに通うに当たって、軽米に住めばいい点がありますよ、というメリットを町内の方もしくは町外の方も含めて発信していくことが必要なんじゃないのかなと。さっきも言ったように、お勤めになられる方が結婚するまでってなれば、子どものこととかも考えてきたりするもので、さっき言ったようなテキストみたいな本みたいなのがあれば、軽米はこういうことを手厚くやってるよというようなことをやっていけば、もしかすれば他の所に住んでいた方がここをベッドタウンにして稼ぎに行こうか、というようなことを考える方がもしかすれば少しの割合でいるかもしれないのかなと思ったのが1つです。それから、結婚していない人が多いというようなことで課題があったんですけども、かるコンとかって私も見ました。見たんですけども、希望者を募って出すことももちろん、それから今回のかるコンは確か未婚者限定になってたんですけど、前までは未婚も既婚も関係なくというような形だと、やっぱり未婚の方の真剣さと既婚の方が出るのは大きな違いがある部分、もちろんその場は和むかもしれないんですけども、お付き合いしてとかどうのこうのまで成り立つかっていうのはまた微妙な部分があると思いますので、未婚者限定という形はいいんじゃないかなと思いました。あとはそれをどこまで情報の発信がされてるかというのを含めてやっていくことが必要なのかなと思いました。軽米に住めばとにかくいい点というのを、戻ってきてもこういうのがあるよとアピール、もしくは町外の方が軽米に、例えば子育ての支援がいいから住みたいとか、生活するうえでいろいろ便が良かったりとかアピール、情報発信が重要なんじゃないかなと思いました。

(部会長) ありがとうございます。あと何かありませんか。

(委員1) 軽米へ来た方の交流施設に関する事で、宿泊施設がないというふうにあるんですけども、実際軽米には、古いんですけども青少年ホームが病院の近くにありますがね。あと二戸の方には県北青少年の家があります。ミレットパークもありますし、旅館もなくはないですよ。あとは交通の便を考えれば種市・洋野・金田一、ちょっと足を伸ばせばそういうところ

があるので、ここの活用も目的に合わせて選べるのではないかなと、使えないような気がするので、どういうふうに申し込んで料金がどういうものがあるって、というようなことがわかれば例えば、青少年ホームに泊まったことがあるんですけども、お弁当を買ってきてそこで騒いで、自炊するのは大変なのでお弁当を買ってきて食べて、みんなで親子で泊まってということもしたので、目的に合わせればだいぶこれらも使えるのではないかなと。始めから作るのではなくてあるものを…

(部会長) あるものと言っても、青少年ホームに泊まれる今の若い人なんかない。

(委員1) 昔の人かな私。

(部会長) トイレも使えないんだよ。

(委員1) すみません。

(健康福祉課長) 県北青少年の家は基本的に研修とかだよな。

(委員1) 研修を目的として泊まるのはどうですか。プラネタリウムを見ながら何か工作をしてスポーツを楽しんだら。

(部会長) 宿泊研修とかそういうふうなのにしかならないでしょ。

(健康福祉課長) まあミレットパークは使えるけど。料金はホームページに提示してあるしプラザに行けば教えてくれる。電話でも当然聞ける。ただ10月末で、また来年の春にならないと使えない。

(部会長) トイレとお風呂を整備すればどうにかこうにかなるかもしれないけど、とてもじゃないが泊まりたい人はいない。

(健康福祉課長) 今青少年ホームの話が出たので、あそこはピヨピヨ広場で、2人専門員がついて月・水・金やっている。(委員2) がこの間言ったように、交流駅の方に健康福祉課としてはスペースをとっていただきたいというお願いをしている。あと住む場所に関しては、地域整備課の方の分野なんですけども、子育て世代を対象とした若者定住住宅の計画は出ています。

(部会長) うまくまとまればいいですね。あと何かありませんか。

(委員1) 住む場所に関するに、町の各種助成制度の情報発信とありますけども、これはもうすでに何回もされてると思うんですけども、軽米は申請が本当に簡単だと思います。水色であれオレンジであれ封筒で送られてくるんですけども、お知らせ版では、対象者と思われる方に送付していますと。変更があれば訂正をして判子を持って役場に来てください、というふうに書かれてるんですね。うちの年寄りとかは面倒くさいと言うんですけども、私はこんなに簡単に書かれている文書は他にはないんじゃないかと思います。来てくださるとばかりに書いてあるのに、うちはどうなんだろうねってじいさんたちは首をひねってるわけですよ。判子持っていくだ

けでいいよと。間違ったらどうしようと言うんだけど、間違ったらそこで判子つけてくればいいんだし、去年と同じものだから変更があったところは直してくださいね、って書いてあるんだからねって書いてあるのをもう1回話をして行かせるしかないんですけども、そういうふうに申請が簡単になってると思います。また、申請時間も3~4日、夜7時くらいまで待ってますよという放送もされているので、お年寄りの方はちょっと理解するのに厳しいのかもしれませんが、私たちからすればすごく親切な放送だなと思っています。部会長さんがおっしゃったように、家族みんなでお知らせ版を見ましょう、放送もみんなで聞きましょう、というのはそのことかなと思いがらいました。私はこれは課題というよりもメリットじゃないかなと、これってすごく助かるよねっていう部分に入ると思いました。

(部会長) まあいろんな助成制度がありますからね。

(健康福祉課長) それではだんだんこのテーマ1と2に分けながら、提言の方向と言いますか内容について少し、やはり文章で、いろいろいっぱい課題とか良い点とか出してるんですけども、こういった提言をしたいというのをみなさんからお聞きしたいんですけども、部会長さんどうでしょう。人数も少ないわけなんですけども。

(部会長) そういうことですので、提言を。

(健康福祉課長) 私はこういうことを町長に提言したいというのを。今までいろいろ出していただいていますので。

(委員2) こういうふうにしてもらいたいというふうには？

(健康福祉課長) そうですね、こういうふうにはやればいいんじゃないかという提言。やっぱり最低これだけは作った方がいいよ、というのでもいいと思いますし、一応説得力と言いますか、これこれもあるし隣の町とか市にあるのであればいい方法があるんじゃないかとか、みなさんいろいろ意見があると思いますので。そういったのを最後にみなさんからお聞きしたい。

(委員2) みんなが喋ったのをまとめればいい。

(健康福祉課長) まあここから2つでも3つでもいいと思います。

(委員2) やっぱりばらばらだとあれだからこれならこれって何か。

(健康福祉課長) テーマが大きく2つなわけですよ。

(部会長) 安心して子育てできる環境であつたり…

(委員3) 施設を、公園なり泊まる場所なり、若い人が住むところを見直していくとか、軽米を知ってもらうために、これっていう施設が、せっかくある場所をもう1歩踏み出して新しくしていくとか、より住みやすいものにしていくとかということと、やっぱり軽米を知ってもらうためにたくさん今出てきたことを情報発信をしていく、ポスターを作るとか。そ

- うというのが大事かなと思います。すいません、うまくまとめられなくて。
- (委員5) ここに、大きな公園がほしい(南郷にある公園以上のもの)とありますよね。フォリストパークとかは物産とか直売所みたいなものはない…?
- (健康福祉課長) レストランというか、ちょっとしたのはあります。
- (委員5) ようするに、南郷にあるああいう施設は、遊ぶところがあって、まず野球とかはできなくてもいいけど、アスレチックとかができたり、あと体験…はなくてもいいか。子どもたちが遊べて親が買い物できて、という感じのものがあればいいんじゃないかなと思います。
- (委員3) 1つでもメインになるところがほしい。
- (委員1) 小さい子は滑り台が好きで、パイプでコロコロってビニール袋を下に敷きながらやるやつ。
- (委員5) あれがあるからかっこの森に。
- (委員2) かっこの森じゃない。森の直売所の近くの島守の方、滑り台があるのは。
- (委員5) 小さい子から大人まで遊べるようなのがあれば。
- (委員3) あそこはうまくやっていますよね、奥中山の子どもの森。あそこもはっきり言って不便だけでもけっこう行っていますよね。あそこに魅力があるのは、何らかの工夫というか…
- (委員2) けっこう行くもんね、保育園で行ったり小学校で行ったり。
- (委員3) それだけじゃなくて家族で行ったりとかも。温泉もあるし。
- (健康福祉課長) 県の施設なので。
- (部会長) 今ある施設を検討しながら、遊べて買い物ができるような施設が1か所でもあれば、というようなことと、軽米町をもっと知ってもらうために情報発信が必要だということが出されましたが、そこらへんでいいでしょうか。
- (委員1) 悪い悪いと言っても、私にとって悪くてもよその人にとっては悪いことでないこともあるから、自分が青空の会というのに十何年入っていて町の動きとかも見てきて、ゆっくりだけど自分が思うような町にはなってきたと思うので、そんなにすぐ思いは形にならなくても、住んでるうちに自分も変わってくるし町も変わってくるから、やっぱり長く住まないとわからないのかなっていうふうに思っていて、今回課題が出されたり良い点が出されたりとかしてるんですけども、良い点がすべて良い点ではなく、課題がすべて課題ではなかったということは、今回まとめてみて自分も補足してみて感じたことです。若い世代はやっぱり違う感覚を持っていて、それこそぼっちゃん便所には入れないって言われたときに、嫁をもらう時には建て替えしなきゃなんないのかなってドキドキしましたが、

環境って常に変わってくる、感覚も変わってくるので、できれば若い人たちがこうしたいというようなものがあれば、それを押す側に回りたいなと思いました。ただ、昔はこういうふうにして乗り越えたんだよという部分は、何らかの形でお伝えできるのではないかなと思いました。

(委員2) 私はやっぱり住む場所っていうんですかね、例えばですけど、笹渡の町営住宅があるんですが、あれをあのまま安く販売できれば、そして自分が好きなようにリフォームできるような、変な考えですけどそういうふうなものもいいんじゃないかなと。ただあれしとけば壊さなきゃならない状態なので、そこだけじゃなくていろんな空き家があるので、それを買い取って安く販売して、自分で好きなようにリフォームできるような仕組みができれば住める人もあるのかなと思います。

(委員5) 私は子育ても終わって学校とは縁がなくなったけど、今は孫ができて、それこそ遊ぶ場所があればいいなと考えました。それでさっきの講演があったらいいなということになって。もし直売所とかができて、遊ぶ時間っていうのはそんなに夜遅くまで遊ぶわけじゃないし、夕方は変えると思うので、営業時間は短くてもいいと思うのであれば。そうすれば人件費も削れるし。そういう施設があっても営業時間は短くてもいいと思います。

(委員4) 安心して子育てできる環境のところ、子育てのテキストみたいな本というのと、ハートフルの所に大きな公園を作ってもらって、せっかく国体で整備して道路の環境も良くなったので。あまりあちらこちらに点在するよりは1か所に、まちなかからもインターからも近いところで、外部からも遊びに来れるようなここらへんにはないような大きな公園を作ればいいのかなと。それから、既存の体育館とかの床を取り払ったりして屋内設備とかを作れば、子どもたちがスポーツする施設とかもできるのかなと。その3つ。あとは結婚して住み続けられる環境については、先ほど住宅ができる予定だということだったので、住む場所に関してはいいのかなと思いましたし、難しいとは思いますが、働く場所もしくは雇用していただける企業が来ていただけるような形になればいいのかなと思いました。

(部会長) 今のあたりのことでいいですか。

(教育次長) よその部会でも、箇条書きのようなところもありますので私はいいかと思います。

(事務局) 今聞いていると、役場が作ればいいというのがけっこうあると思うんですけども、民間でこういうこともやっていけばというか、そういったものが何かあればよかったかなという感じはしています。私たちがこんなことをやっていったらどうでしょうかというような。

(部会長) 研修の時の十和田バラ焼きゼミナールのような人がいらっしやればですけど、軽米町にはどうでしょう。

(委員2) 私はちょっと考えたんですけど、笹渡小学校のところで例えば直売所なんかをやって、グラウンドもあるのでそこにちょっとした遊び場なんかを作ればいいのかなんて自分で勝手に。割とうちの方は町に来るのはちょっと不便なんですけど、八戸とか種市とか大野とかっていうのはすごく便利なので、八戸にも15分ぐらいで行くので、だから住むにはけっこううちの方はいいところなんですけど、遊ぶ場所がないし。

(委員1) そういうのがあると自分たちが大変になるなとは思いますが、ただ笹渡は本当にまちなかに来るよりも、町外の八戸とかおおさわに自分たちが行きやすいつていうことは、たぶん他からも来てくれるんじゃないかなって思います。それこそ(委員2)は産直とかやりたいねって話をして、私はあの部屋に老人ホームを作りたいなとか、勝手に自分はこの校舎をこういうふうに使いたい、だけどその予算を活用する分の事務局がほしいなって。違うことであつたり同じことであつたりしても語れるのは語れるんですよ。ただそこから踏み出すにはやっぱり申請、助成金をとる、運営するというのまでは自分の力ではちょっと無理だなと。それよりも今の生活を守っていきたい。それだけで手いっぱい。

(部会長) 民間で誰かそういう施設を作れるところがあればね。

(委員1) 早いうちに手をつけないとね。

(事務局) あとはさっきの子育てサークルをみんなで作って、例えば一時預かりとかをやるんじゃないかとか、一時預かりぐらいだったら子育てサークルを作ることによって、課題となっていたような一時預かりもできるんじゃないかな、というふうな考えも出てくるのかなと。例えばいつもこうじよの会とかがピヨピヨで託児とかをやってくれてますけども、そういった意味ではそういった会が中心になって一時預かりをどこかの施設で、まあ予約があればだけどやるとか、そういう役割も誰かがやればいいんじゃないかなとか私は勝手に思ってたんですけども。だから、そういうところを役場が提供してくれるのであれば私たちがやるよ、というような団体を育てた方がいいというような提言をすればいいのか、それはそれで1つの提言にはなるのかなと思ってました。役場なりがその施設を提供、私たちが労力を提供するとか…

(部会長) 本来であれば子育て支援が一番のあれだから、出してみてもいい。

(事務局) そういったサークルを作る努力をしてほしいとかそういった提言でもいいだろうし。

(部会長) 保育園の退職してる人、けっこうまだいますよね。

(事務局) その人たちを活用してはどうですかという提言とか。

(部会長) けっこう退職してる人たちが若いから。

(健康福祉課長) あとは提言案を事務局で作って、部会長さん副部会長さんにお示ししてよろしいですか。これだけは提言したいというのがあればおっしゃっていただければ。まず早めにまとめて、部会の委員のみなさんにお示ししたいと思います。

(部会長) ではそういうことでよろしいですか。会議は今回で一応終わりというところで。

(事務局) 全体会のイメージについてご説明したいと思います。今のところまだ日にちまでお示しすることができないんですけども、議会が終わってからまたみなさんに集まっていただいて、開き方は前回の全体会と同じイメージでとは思っております。委員のみなさんに集まっていただいて、各部会の部会長さん、副部会長さんから町への提言ということで発表していただきたいと思います。前回はいつまんだところで町からの回答ということでお返事をさせていただいたり、それ以外の拾いきれなかった部分については次回の部会で、ということをお話をさせていただいていたんですけども、今回は、すぐにでもできるものは予算に反映させたいというところがあるために、12月の開催を予定しています。その段階ではまだ予算に反映させます、できますという話はその場ではできなくなるんです。予算に計上する以前の話になりますので。前はできますとか、ちょっと今の段階では難しいかもと言う形で、お話しできたところできないところがあったんですけども、今回は基本的には各部会からの提言、こうした取り組みをしてみてもどうですかとか、こういったことで私たちも動いていきたいので町から協力をお願いしますとかという形での、各部会からの発表だったり報告の方がメインになって、たぶん町からのその場での回答は難しいのかなというところなんです。いずれ役場の都合とかシステム上、予算の計上が1月年が明けてからになりますので、その前の12月下旬で議会も終わって、町長とか各課長等も時間が合わせられる辺りとなると、今度は年末でみなさんにとっては忙しい時期かもしれないんですが、みなさんがそろえる限りそろっていただいて、というイメージです。ただ詳しい日程等については先ほどのとおり未定なので、12月中下旬に全体会ということで、日にちが決まり次第、みなさんに一斉にご連絡したいと思いますのでよろしくをお願いします。日程については以上です。

(部会長) ではみなさんそういうことですので、みなさんお集まりください。

よろしいですか、他に言いたいことはありませんか。

(健康福祉課長) 長時間にわたってありがとうございました。